

## 環境衛生学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》小島 弘幸(薬学部) 窪田 篤人(薬学部)

### 【概要】

薬学における環境衛生学は、「環境の維持・向上により、健康な人が病気にならないようにする学問」として、予防健康科学の分野を担っている。人は生物を取り巻くすべての環境に適応しながら進化を繰り返してきた。環境によって引き起こされる疾病を防止するには、社会・集団の視点から健康と疾病を理解し、地域のなかで普及することが重要である。環境衛生化学の講義では、身近な環境問題としての水・大気・環境衛生、地球環境について考察し、健康の専門家としての薬剤師が身につけるべき環境衛生の基本的事項を修得し、疾病の第一次予防としての「健康と環境」を考察できることを目的とする。

### 【学修目標】

地球生態系や生活環境を保全、維持できるようになるために、環境汚染物質などの成因、測定法、生体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的事項を修得する。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。